



安藤 治孝
(あんどう はるたか)

- 国内電子部品メーカー、大手玩具、日用雑貨メーカー、大学発バイオベンチャー企業などで、法務、知財業務に通算35年以上携わる。
- この間、M&A、合併事業、ライセンス、東南アジア諸国における現地法人の立上げ支援を行うとともに、知的財産権の実務、マネジメント業務の経験を有する。
- その他、バイオベンチャーにおける資金調達の実務経験や日本バイオテック協議会の事務局業務に10年近く携わり、バイオベンチャー企業の課題についての知見を有する。



飯島 敏夫
(いいじま としお)

- 国内化学製造メーカーで43年勤務し、定年退職。その後、特許事務所勤務。
- 企業では、研究開発部門に8年、知財部門（出願・権利化、契約・商標、特許調査、産学連携）に25年。開発企画部門（新製品開発）に5年、執行役員兼研究開発本部長として5年企業経営に従事。
- この間、国内大学に2年留学、米国特許法律事務所に研修生とし2年、中国の大学との共同研究センター設立、社内ベンチャー設立支援、海外研究機関との共同研究支援等の案件を経験した。



井上 尚幸
(いのうえ なおゆき)

- 機械・半導体関連の国内メーカーおよび法律事務所勤務を通じ、約40年にわたる知的財産と法務に関する実務とマネジメント経験を積む。
- この間、特許、商標、意匠の出願権利化、他社権利クリアランスをはじめ、国内外のライセンス交渉や訴訟対応を行い、また、知的財産やビジネスに関する種々の国際契約、M&Aなど幅広い仕事に携わった。海外実務に関しては、米国と欧州を合わせ7年半の駐在経験を有し、海外展開に関わる現地法人の立ち上げにも参画した。



幸谷 泰造
(こうたに たいぞう)

● 弁護士・弁理士。国内電機メーカーにソフトウェアエンジニアとして入社後、知的財産部門に異動し国内外の特許出願、特許クリアランス、係争等に従事。

● その後弁護士に転身し、知的財産を専門とする法律事務所で特許侵害訴訟やライセンス交渉等の係争業務、技術系企業の契約書作成、スタートアップ企業の知財戦略支援、知的財産デューデリジェンス等、知的財産や技術法務に関する実務に幅広く携わる。

● 令和4年度には特許庁I-OPENプロジェクト 専門家サポーターに就任しスタートアップ企業の知財支援を行った。



後藤 光夫
(ごとう みつお)

● 国内精密機械メーカーで38年間勤務し、定年退職。生産技術部で10年間の設計開発を経て、知財部門で特許の出願・権利化、知財戦略検討、知財管理を担当。

● この間、海外現地法人（北京、香港）に通算7年勤務し、中国・アジア現地法人の知財管理、模倣品対策を経験した。公益財団法人日本台湾交流協会（台北）に6年勤務し、台湾進出日系企業の知財支援、知財関係当局との連携強化、知財課題の調査研究などを担当。



竹市 博美
(たけいち ひろみ)

● 国内電子機器製造業、機械製造業での2社35年知的財産業務を担当。主にライセンス・アライアンス等の協業に関する交渉・契約を、また商標・意匠で権利形成から模倣品含む権利侵害対応を担当。5年の中国駐在時は現地知財機能を立ち上げ、また日系企業知財関連団体代表として模倣対策関連の中国各政府部門への渉外を実施。

● 帰任後はAIやデータ利活用が課題となる中スタートアップや海外大学との協業を契約面で支援、また「限定提供データ」制度導入に際し経済産業省「不正競争防止に関するガイドライン素案策定WG」に委員参加。



戸崎 善博
(とさき よしひろ)

- 家電メーカーの技術者として約18年新規事業開発・事業化を担当し、その後知財職能として15年特許ライセンス（二者間、プール、訴訟、監査等）を担当する。

- その後、大学の知財部門にて3年4か月大学発ベンチャー支援に従事し、任期満了に伴って、発明推進協会にて2年間産学連携・スタートアップアドバイザー、知的財産プロデューサーに従事して、現在に至る。



平林 篤哉
(ひらばやし あつや)

- 商社、ゼネコン、国内電機メーカーに従事する中、知的財産部門に所属し、知財戦略立案、特許出願権利化、模倣品対応、係争等を経験するとともに、デザイン・ブランディング形成等、幅広く携わった。

- この間、日本知的財産協会にて、アジア戦略プロジェクトへの参加や意匠委員会委員長を務めた。

- 令和3年には、意匠五庁会合にて発表者を務めるほか、令和4年には、経済産業省産業構造審議会知的財産分科会意匠制度小委員会委員として、政策審議に参加した。



中里 実佐男
(なかざと みさお)

- 国内電機製造業で32年勤務した後、独立行政法人で10年勤務。

- 企業では、知財部門において発明発掘・出願・権利化、特許調査・分析・戦略策定、技術移転、特許ライセンス交渉、契約書作成、合併、特許訴訟等の知財の実務と管理を経験。

- 独立行政法人では、競争的資金が投入された大学や研究機関により推進される研究開発プロジェクトに対する知財戦略策定・管理及びスタートアップ支援を経験。



能川 勝男
(のがわ かつお)

●国内機械製造業に38年勤務。知財・法務部門にて国内外への出願・

権利化、知財契約等の折衝、技術情報流出防止、知財係争や機関法務等の実務に従事。

●この間、米国法律事務所及び中国現地法人（北京）に駐在し、米国での特許・訴訟制度を習得するとともに、中国では知財組織の立上げ、権利取得体制の整備、模倣対応等の実務と指揮監督に従事。また、公益財団法人日本台湾交流協会（台北）に出向し、台湾進出を検討している日本企業への知財支援等の実務経験を有する。



平出 高久
(ひらで たかひさ)

●国内機械製造業で設計開発業務に17年間従事した後、

知的財産業務に16年間従事し、特許・意匠・商標の出願・権利化、知的財産契約、知的財産部門の企画・戦略立案等を担当した。

●その間、日本知的財産協会特許委員会や日本自動車工業会知的財産委員会に参加し、大学院（知的財産研究科）で修士号を取得した。

●その後8年間、多くの大学の産学連携プロジェクトを支援し、大学発スタートアップの創業に向けた支援等の経験を有する。



廣岡 寿人
(ひろおか ひさひと)

●国内大手電機メーカーに約15年在籍。

その前半は、半導体、通信、ゲーム等の広範な技術分野に亘る国内外の知的財産業務に従事。特に、米国特許訴訟の担当多数。

後半は、知的財産を離れて、グループ経営企画／事業戦略、新規事業創出に従事。新規事業創出では、欧州拠点に約4年駐在し、現地のスタートアップ支援に携わる。

●技術経営修士（米国）および日本弁理士。



広瀬 勇一
(ひろせ ゆういち)

●国内電機メーカーの通信関係事業部門を経て、知的財産部門に異動。渉外部門において、国内外の企業との特許権等のライセンス交渉や譲渡交渉、それらの契約業務、米国企業との訴訟業務等を経験。

●その後、開放特許の活用に関わり、地方自治体や金融機関等と連携し全国各地の中小企業の新事業創出を通じた知財の社会実装を経験。

●早期退職後はインキュベーション施設での起業支援や株式会社の創業も経験。

●日本ライセンス協会（LES）会員（ベンチャー・スタートアップWGメンバー）。



松島 重夫
(まつしま しげお)

●国内機械製造業で33年半勤務し、定年退職。企業では、研究開発部門に1年、知財部門（出願・権利化、契約・商標、渉外、知財企画等）に29年半、技術戦略部門（国際標準化・産学官連携等）に3年勤務。

●この間、米国法律事務所に研修生として約2年半、中国現地法人（上海・北京）に5年の勤務。中国現地法人では経営幹部として経営に関与すると共に、知的財産機能の立ち上げと模倣品対策等の知財活動に従事。

●企業退職後は公設試知的財産アドバイザーとして2年半、職員の指導と地場企業の支援を行う等、幅広い経験を有する。



森 誠司
(もり せいじ)

●製薬企業において、入社以来約30年間、知的財産部における業務に従事。その間、積極的な海外展開とM&Aにより経営の変革が進められる中、急速にグローバル化する日本企業における知的財産マネジメントの構築に関わった。

●実務としては、商標、意匠の権利化、不正競争防止法、著作権、職務発明等に関する紛争解決の経験を積み、また、多数のライセンス及びM&A案件に関わり契約業務の経験を有する。英国の特許事務所での駐在経験あり。



若山 浩一
(わかやま こういち)

●国内化学メーカーで40年余り知財業務に従事。法務部、事業本部の兼務期間あり。退職後、知財コンサルに携わる。

●企業では、主として契約・渉外業務を担当し、権利活用、模倣品対策、アライアンス等の協業案件を担当し、ライセンス交渉・各種契約書作成、国内外の知財訴訟・和解、M&A対応など幅広い業務の経験を有する。

●この間、事業部門及び研究・開発部門と連携・伴走しながら、グローバルでの特許、意匠、商標の出願・権利化とその活用までの知財・事業戦略を一貫して推進した。

知財のお悩み、活用方法についてのご相談は
知財戦略エキスパートまで！！

お申込みWEBフォーム



https://www.inpit.go.jp/form/gippd_inquiries.html

【お問合せ先】

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）

知財戦略部 エキスパート支援担当

電話：03-3581-1101 内線3823